

TSB 新春セミナー

「HIKOBAE プロジェクト」にかける想い

講演者 塩屋俊（俳優・映画監督）

2011年3月11日 東日本を襲った未曾有の大災害。

俳優・映画監督である塩屋俊は、その二週間後にカメラを抱え、福島県相馬市を訪れた。そこには想像を絶する光景が広がっていた。さらには、甚大な津波の被害に加え、原発の恐怖がそこに住む人びとをむしばんでゆく。

そんな中、相馬市の立谷市長はある決意をする。

「ここで逃げたら相馬市は二度と立ち直れない。俺はここで“籠城”する……！」

塩屋は市長はじめ、相馬市の人々の戦いをカメラにおさめつづけた。

「HIKOBAE プロジェクト」とは、3.11の「記憶」を「記録」する取り組みである。無念の死をとげた人びとのために、そして未来を生きる子どもたちのために。相馬市のリアルな実態を交えながら、3.11後の世界におけるエンターテインメントの可能性と使命を、制作者の視点から語る。

HIKOBAE PROJECT について

ひこばえ（薬）とは、樹木と切り株や、根元から生えてくる若芽をします。これは、再生と、新しい息吹の象徴です。

2011年3月11日に発生した東日本大震災によって多くの建物、財産、命を失いました。しかし、人類はこれまでも多くの自然災害や、人類同士の戦争によって多くの文明、文化を失いつづけてきた背景があります。HIKOBAE PROJECT は、日本とアメリカの制作者、演技者が主体となり映像、演劇、音楽、出版、人材教育などをあらゆる文化活動を通して次の世代に、「文化」と「人」を記憶とともに、継承していく物語活動です。

■活動趣旨

1. 映像、演劇、音楽、出版など文化財を、次の世代に残すべき題材をもとに、制作、頒布していく。
2. 制作、頒布の活動とともに、次世代の人材育成に取り組み、知的財産と技術的財産を継承していく。

■活動内容

“Remember 3.11”

毎年3月11日の前後に、さまざまな記憶の物語を伝える活動と、それを支える物語を発信していく。

■将来的な展望

東日本大震災に見舞われた遺児への助成や、世界中の災害孤児を支援する活動実績をつみ、NPO法人の設立も視野に入れ、文化活動収益を基金化し運営できる組織づくりを目指している。

講演者プロフィール



塩屋 俊 Shioya Toshi

俳優・映画監督/プロデューサー
株式会社ウィル・ドウ 代表取締役
アクターズクリニック主宰

慶應義塾大学在籍中に俳優としてデビュー、NHK連続テレビ小説『おしん』、Russell Crowe共演の豪州映画『BLOOD OATH/アンボンで何が裁かれたか』(オーストラリア映画協会助演男優賞ノミネート)、ユニバーサル映画『Mr. Baseball』など、数多くのテレビ、映画作品に出演を重ねる。

1994年に、日本の撮影現場に即した実践的な演技育成を目指し、塩屋 俊アクターズクリニックを設立(現在「アクターズクリニック」東京校/大阪校)、受講生の数はのべ1万人を超え、確実な信頼と実績を重ねている。

主な監督作品に、『ビートキッズ』『ゼロからの風』『ふたたび～swing me again～』『種まく旅人～みのりの茶～』(2012年春公開予定)東日本大震災・相馬ドキュメンタリー『HIKOBAE』(現在制作中)などがある。

また音楽劇『彩虹橋 in 上海万博』のプロデュースなど活動の幅を広げ、2010年には舞台『ルーベンス・タインキス』(演出:鶴山仁)にて主演、俳優としても本格的に活動を再開、昨年2011年には映画『ふたたび～swing me again～』における社会的功績が認められ、第35回山路ふみ子福祉賞を受賞した。

日時：2012年1月13日(金)
17:30 開場 18:00 開演

場所：ストークビル2階会議室

詳細は追ってお知らせいたします。